

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 3月25日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	4号機	換気空調系コントロール建屋非常用電気品室冷水系サージタンク(A)排水弁において、弁棒部の折損により操作が不能となったことが認められたため、次回点検時に当該弁を交換。 なお、本件は、当リストNo. 2の弁シート部漏えい解消操作のため開閉した際に発生したものであるが、全閉状態での折損であり、当該弁からの冷水の漏えい量は微量である。	GⅢ	3月20日
2	4号機	換気空調系コントロール建屋非常用電気品室冷水系サージタンク(A)排水弁において、シート部に漏えいが認められたため、次回点検時に当該弁を交換。 なお、冷水の漏えい量は微量であり、サージタンク液位低下時は十分に補給可能であることから、空調機器への冷水供給に影響はない。	GⅢ	3月20日
3	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物処理建屋所内低圧電源設備配電盤(直流125Vパワーセンター)気中しゃ断器において、点検後に配電盤内のしゃ断器位置検出スイッチ内の部品の一部破損により、しゃ断器が投入できないことが認められたため、当該位置検出スイッチを交換し、気中しゃ断器が正常に投入できることを確認した。	GⅢ	3月21日
4	3・4号廃棄物処理設備	換気空調系廃棄物処理建屋制御室排気ファン(A)用電動機において、点検時に負荷側及び反負荷側軸受部(ベアリングハウジング)内径に嵌合管理値外れが認められたため、当該軸受部を点検・修理。	GⅢ	3月21日